

情報リテラシーを身につけよう

～インターネットやSNSを利用するときに気をつけたいこと～

現 状

インターネットやSNSには
偽・誤情報があふれている

個人の誤った判断や行動につながる
社会を混乱させている

1. アテンションエコノミー



- ・私たちの「注目」（アテンション）がとても貴重で金のような価値があるという考え方。
- ・魅力的で面白い広告等が作られる一方で、わたしたちの注意を引くために、過激なタイトルや事実ではない加工された情報が配信されていることがある。

2. アルゴリズム



- ・私たちがインターネットで見る情報や広告の内容を決めるルールのこと。
- ・例えばどんなサイトを閲覧していたかを元に好みに合いそうな情報を分析し、表示してくれる。
- ・便利な一方で、SNSやインターネット上では、知らないうちに偏った情報を見ている。

3. フィルターバブル



- ・アルゴリズム機能により、同じような情報ばかり見ることになり、他の考え方や視点に触れる機会が少なくなる現象のこと。
- ・まるで自分の周りに情報の泡ができて、その中でしか情報を見られないようになっていくイメージ。

4. エコーチェンバー



- ・同じような意見や情報ばかりが集まる場所のこと。
- ・同じような興味や関心を持つ人たち同士で話すと、自分の意見に賛成してくれる人が多くなり、「自分たちと違う考えは間違っている」と思いやすくなる。結果、他の意見を持つ人への批判等につながることもある。

5. 確証バイアス



- ・自分の信じている考えや意見に合った都合のいい情報ばかりを集めてしまい、それと反対の情報は見ないようにしたり、無視したりしてしまうこと。

1～5は情報リテラシーを学ぶ上でみなさんに知っておいてほしいキーワードです。
裏面でさらに学んでいきましょう。



情報リテラシーを身につけよう ～インターネットやSNSを利用するときに気をつけたいこと～

偽情報・誤情報にだまされないために

見きわめる力（リテラシー） を身につけよう

- ・ 情報の特性を知ろう
- ・ 偽情報・誤情報に気づけるようになるろう
- ・ 偽情報・誤情報に気がいたら、それらを他人とシェアしないようにしよう

怪しい情報の真偽を確かめてみよう （ファクトチェック）

- ・ 自分で検索してみよう
- ・ 信頼できる複数の情報源で確認しよう
- ・ それらの結果、誤りを発見したら、発見した内容を広く共有してみよう

AI時代を迎え、偽情報の作成はますます精巧になっている。
映像や音声は加工されているものと考えよう

やってみよう！ ファクトチェックの方法

A. 自分で検索

Google検索などで、
信頼できる複数の情報源で確認してみよう

B. 画像・動画の検証

画像の上（動画は動画以外の場所）で右クリックをし、オリジナルの画像や動画を探してみよう

C. 生成AIの検証

映像や画像に不自然な箇所がないかよく見てみよう

クリティカルシンキング（吟味思考）

情報をすぐに受け入れるのではなく、いったん立ち止まって、その情報の真偽を確かめたうえで、その情報をどのように自分が受け止めるのか、考えてみよう